

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	相模小学校移転整備事業		
事業担当	学校教育部 教育施設課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	人間力 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'06	6 教育施設・機能を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者			事業期間
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
相模小学校の移転がなされ、地元の児童や住民の利便性が高まっています。		隣接校解消のため、相模小学校の移転を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
成果指標	指標名	事業進捗率(平成25年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成29年度を100%とした進捗率。H27:用地取得・地質調査・建築設計等20%、H28:用地取得・地質調査・建築設計等30%、H29:校舎建設工事25%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標		20	30	45	
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	ツインシティ大神地区土地区画整理事業の進捗状況を勘案し、建築設計が未発注のため				
平成26年度の主な取組と成果						
相模小学校移転基本計画について地元や学校へ説明するとともに、建築設計の発注準備を進めました。						
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	環境事業センターの建設に伴う「合意書」に基づき実施する事業であるため、実施の必要性は非常に高いです。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	事業実施は地元住民の要望によるものであるため、隣接校の解消がなされれば、市民満足度はかなり高まるものと思われます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	環境部と教育委員会に関連する事業であるため、業務の執行体制を明確にし、それぞれの業務を着実に推進していきます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	地元および庁内との綿密な連携が不可欠であり、スケジュール管理を行いながら、効率的に検討を進める必要があります。	高中低
今後に向けた課題の分析		ツインシティ大神地区土地区画整理事業と連携を図りながら、建築設計等の移転に向けた準備を進めていく必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		地元地域と協議及び庁内調整	地元地域と協議及び庁内調整、基本計画作成	建築設計	用地取得、地質調査、建築設計等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	40,500
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	15,750	0	13,500
事業費 (A)		0	15,750	0	54,000
執行率 (%)		-	96.90	0.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	移転に向けた建築設計を進めつつ、土地区画整理事業と連携を図りながら、用地取得や地質調査に着手します。
課長コメント	建築設計や用地取得の準備を進め、速やかに作業に入れるよう関係部署と十分に協議調整を行います。